在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

鳥取南ブロック民生児童委員研修会（鳥取市民生児童委員協議会）

テーマ：　わたしの心づもり　～考えてみましょう　話し合ってみましょう～
　　　　　ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）のすすめ
日　時：平成３０年7月１１日（水）　１０：００～１０：４５（４５分）
場　所：鳥取市さじアストロパーク
参加者：６３名

【内容】　ＤＶＤ「我が家（うちげぇ）に帰りたい」、パンフレット「さいごまで自分らしく豊かな人生のためのわたしたちの心づもり」と終活支援ノート「わたしの心づもり」を使ってのＡＣＰ啓発。

（概要）
　鳥取市の人口推移やニーズ調査と東部医師会で行っている在宅医療・介護連携に関する住民啓発の取り組みを紹介。ＤＶＤの第２幕を視聴した後、参加者の全員で「今後の介護・医療について話し合いをすることをどのように思いますか？」を話し合った。
　パンフレットによりＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）について説明・解説し、ＡＣＰの理念に基づいた終活支援ノート「わたしの心づもり」を紹介した。

【講師感想】
　グループワークをしていただきましたが、皆さんそれぞれに想いがあり、活発な話し合いとなりました。人生の最期の場所については「その時にならないと分からない」といいながらも、「一番は自宅だなあ」との思いも強かったようでした。また「専門職（医療・介護関係者）への啓発を広め、住民へと伝達していってほしい」と貴重なご意見もアンケートの中にありました。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室・秋田和秀主幹、廣山恵看護師）